県かこ 兵庫県立加古川医療センター

地域医療連携ニュース

vol.80
2017年
8.9月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 地域医療連携会議開催いたしました …… 1
- 研修医“頑張っています！” …… 2
- 脳神経外科 …… 3
- リウマチ科 …… 4
- 外科 …… 5
- 看護部トピックス …… 6
- ＰＣＴ活動 …… 7
- 外来診療表 …… 8

第12回 地域医療連携会議開催いたしました

平成 29 年 6 月 29 日（木）18 時より“ミル・アンジュ”にて第 12 回地域医療連携会議を開催させていただきました。この会は、地域の医療関係者の皆様に当院の情報をより多く知っていただきたいということと、顔の見える関係を築かせていただきたいということで、12 年前より年 1 回企画しております。今回も、多数のご参加本当にありがとうございました。下記に内容をご紹介いたします。

■ 第 1 部・講演会

1. 加古川医療センターの近況　【小川恭弘院長】

昨年 12 月にオープンした南棟の紹介、5 つの政策医療の最近の動向と当センターの取り組みを『患者さん』『業務プロセス』『学習と成長』『財務』の 4 つの視点でお話ししました。

2. 血液浄化センターの紹介とオンライン HDF の効果　【腎臓内科　中尾一清部長】

血液浄化センターの主な設備と透析治療の実際を紹介の後、オンライン HDF の貧血への効果についてお話ししました。

3. 放射線科のご紹介－診断から治療まで－　【放射線科　酒井英郎部長】

当センターが有している最新の装置と実際の画像を提示しながら、診断から治療についてご説明。『みんなで取り組む骨転移』についてもお話ししました。

4. 生活習慣病センターの活動について　【糖尿病・内分泌内科　飯田啓二部長】

糖尿病、肝臓病、足病変、動脈硬化各チームの紹介、『患者さんへの啓蒙』『職員への啓蒙』への取り組みの実際、糖尿病教育入院の内容についてお話ししました。

5. 当センターにおける大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療薬　継続率　【整形外科　岸本健太部長】

データを提示しながら骨粗鬆症治療薬継続率の低さについてご説明。骨粗鬆症リエゾンサービス (OLS) を含む骨粗鬆症地域連携ネットワークについてもお話ししました。

■ 第 2 部・意見交換会

加古川医師会の枝川会長の乾杯のご発声で、第 2 部の意見交換会が始まりました。和やかな雰囲気の中、日頃からお世話になっている先生方をはじめ、各関係者の方々からご意見をお伺いすることができました。

今後も、地域住民の皆様に貢献できるように精進して参りたいと考えております。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

研修医

“頑張っています！”

宮脇　康輔（みやわき こうすけ）
生まれ故郷の兵庫県に帰って参りました。日々精進！頑張ります。

宇山　裕樹（うやま ゆうき）
大学６年間を山口県で過ごし帰ってきました。地元の医療発展に少しでも貢献できるように頑張ります。

長見　直（ながみ ただし）
研修医２年目です。力の限り頑張りますのでよろしくお願い致します。

松川　卓生（まつかわ たくお）
６年間福岡で過ごし関西に帰ってきました。少しでも貢献できるように頑張ります。

曽谷　尭之（そたに のりゆき）
医師になって早一年。ふるさと兵庫の医療のために、一歩でも前に進んでいけるよう精進してまいります。

山本　雄也（やまもと かつや）
高砂出身です。桃の国や味噌の国を巡って地元に帰ってきました。少しでも早くお役に立てるよう努力して参りますので、よろしくお願いします。

大町　侑香（おおまち ゆか）
雪国北海道出身ですが、暖かく受入れて頂き、充実した日々を送っています。微力ではありますが、地域に貢献出来るよう頑張ります。

前田　岳志（まえだ たけし）
ため池と水田の街、稲美町で育ち再び地元に戻ってきました。県加古での研修が医師として豊かな実りとなるよう頑張ります。

貝田　航（かいた わたる）
全国の医学生、研修医を成長させられる指導医を目指します。今、何を知りたかったか、何が出来て嬉しかったか忘れずにいよう。

吉平　望（よしひら のぞみ）
今は小さいけれど、これからぐんぐん成長します。目標は身長 180 ｃｍ！

木戸　希（きど のぞみ）
同期に恵まれ、日々楽しく過ごしております。まだまだ出来ないことは多いですが、生あたたかく見守って下さい。

青戸　一恵（あおと いちえ）
地元である兵庫県に戻り早４ヶ月が過ぎました。素晴らしい先生方のご指導を受け、そして同期と励まし合いながら日々働いています。

高橋　拓也（たかはし たくや）
さーて来週のサ○エさんは？「タカハシ、ルートが入らない」「鳴り止まぬピッチ」「先生、SpO2 が下がっています」の３本です。お楽しみにね！

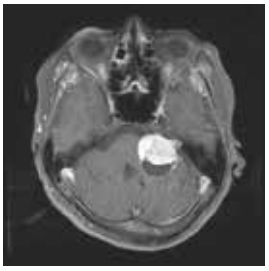
脳神経外科

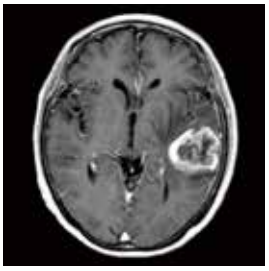
脳神経外科部長　**相原英夫**

◆ ご挨拶

地域の先生方におかれましては、当科への患者さんのご紹介、また当科での治療後の逆紹介の患者さんの受入れなど、平素から大変にお世話になっています。当科は、頭痛、めまいなど日常的症状の地域近隣の患者さんから、高度専門医療が必要な患者さんまで、患者さん目線でかつ高度先進的な治療を行うことで、最良の治療と満足をご提供することを変わらぬ目標に努力しています。

◆ 対象疾患


良性腫瘍（神経鞘腫）


悪性腫瘍（膠芽腫）

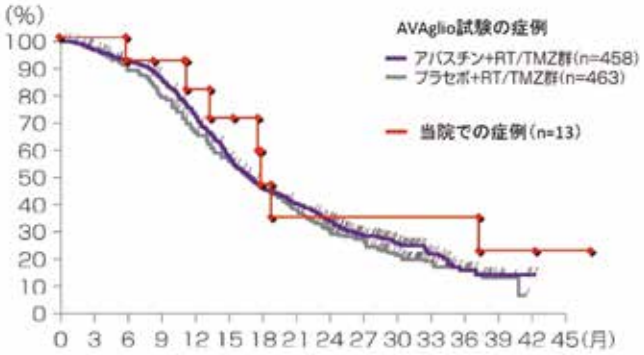
脳動脈瘤

疼痛に対する脊髄刺激

当科では、機能的脳外科と呼ばれる分野の治療も積極的に行っており、脳卒中後などの中枢性疼痛、脳性麻痺患者も含めた四肢の痙縮、また顔面痛や顔面痙攣など、外科治療が奏功する例も多く認めています。てんかん、パーキンソン病、ジストニアなどに関しては、神経内科とも合議の上、外科治療の適応との判断になれば、神戸大学での治療をお勧めしています。

◆ 治療成績：悪性脳腫瘍

悪性脳腫瘍は、手術に加えて、化学治療、放射線治療含めた集学的治療が必要です。我々の治療成績は、少ない症例数ではありますが、世界の大規模試験におけるアバスチン使用症例群との比較でも、良好な結果が得られています。



膠芽腫の全生存期間
－AVAglio試験結果と当院の成績の比較－

◆ 脳外科学会専門医４名です

2009.11 月の開設当初は常勤医２名でしたが、2013 から３名、そして現在は専門医４名体制となって過去最強の布陣です。

◆ 予約なしでもいつでも診ます！！

脳神経外科は、外来診察時間以外でも、救急隊や他の医療機関からのご紹介患者さんには原則すべてに対応します。また通常の脳外科外来宛へのご紹介ですが、型通りに地域医療連携部を通じて予め診察予約をとって頂ければスムーズですが、ご面倒な場合や、当院の地域医療連携部の窓口が時間外の場合など、全くの初診で事前予約がなくても、当日受診して頂ければ、即日で診察および検査も行います。

要するに、脳の精査をと思われたら「今日でも明日でも医療センター脳外科へ行って診てもらってください」とお手紙を持たせて（持たせなくても結構ですし）頂ければ全然 OK、ということです。

お気軽にご相談、ご紹介頂けば有り難いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

リウマチ科

リウマチ膠原病センター次長兼リウマチ科部長　**塩澤和子**

リウマチ膠原病センターの外来

平成 28 年 12 月に南棟がオープンし、新たな診察室でリウマチ科の診療がはじまりました。

南棟１階は診察室５室と処置室から成り、月曜日から金曜日まで内科医と整形外科医の４診体制で外来診療をしています。

内科的な疾患の方から、すぐに入院を要する方、関節手術を要する方まで、幅広く対応しています。

リウマチ・膠原病の研鑽のため、平成 28 年 11 月から加古川医師会と共催で、「加古川リウマチカンファレンス」をはじめました。講演は約１時間、その後に２題の症例検討をしています。これまでに「抗 CCP 抗体の意義と MTX の効果（塩澤和子）」、「シェーグレン症候群（兵庫医大 東直人先生）」、「関節リウマチの薬物治療と手術療法（中川夏子）」、今後の予定は、10 月 19 日に「総合内科外来から診たリウマチ膠原病疾患」を加古川中央市民病院の金澤健司先生、平成 30 年２月 22 日に「リウマチの呼吸器疾患（仮題）」を明石医療センターの大西尚先生にお願いしています。

それぞれ、17：30 から南棟研修室で開催しますので、お時間がありましたらぜひご参加ください。

患者向けリウマチ教室（リウマチ体操の様子）

患者様向けには本年４月から「リウマチ教室」を本館１階の学習広場ではじめました。看護部、地域医療連携部、栄養管理課、検査部、薬剤部、リハビリテーション科、診療部の７部門が月１回２題ずつの頻度で約１時間の講義とリウマチ体操をおこない、８月３日で各部署からの講義が一通り終わりました。現在、平成 29 年度後半の予定を立てています。

リウマチ膠原病センターのスタッフ

７月の１日あたりの外来患者数は 88.2 人、入院は 24.9 人でした。紹介患者数は平成 28 年度が 35.8 人／月、29 年度が 41.8 人／月で、少しずつ増加していますのは、地域の先生方のご高配と感謝しています。

不明熱、関節痛や腫脹のある方、どこの科が主科かはっきりしない方などご紹介くださいましたら診察させていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

外科・消化器外科

外科部長　**高瀬至郎**

当科では、食道から肛門までの消化管、肝・胆・膵・脾など実質臓器も含めた消化器外科を中心に診療しております。消化器外科領域以外では甲状腺、副甲状腺疾患、各種ヘルニアなども対象に、幅広い領域の疾患を取り扱っています。当院には癌治療専門の診療科がありませんが消化器癌に関しては手術前後の補助化学療法をはじめ、進行再発癌の化学療法の多くも当科が担当しています。

治療方針としましては、各疾患の治療ガイドラインに則った標準治療を基本として、低侵襲な手術法などの新しい治療法も吟味の上、積極的に取り入れています。

手術に関しては鏡視下手術を積極的に採用しており、進行胃癌や大腸癌の困難症例（穿孔、閉塞、浸潤、再手術など）を除けば、ほとんどの消化管と胆嚢手術を鏡視下で施行しています。現在では、肝臓や膵臓など実質臓器に対しても症例を選んで鏡視下手術を行えるようになりました。また、消化器内科の先生方に協力頂き、腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）も導入しています。

スタッフは７人ですが、５人の消化器外科医に、救急科専門医と外科専攻医を加えた構成となっており、チームとしてもバランスのとれた布陣と自負しております。

外来の体制としましては、手術日の木曜日以外は２名にて対応しています。柔軟な初診対応を心掛けるとともに、術後のサーベイランス、外来化学療法もできる限り担っていきたいと思っています。

メンバーは、やや高齢に傾いておりますが、外科医として十分な経験と各々に専門領域、得意分野を有しており、モチベーションは高く維持され、チームワークも良好であり、地域の中核病院として皆様のご期待に充分お応えできるものと考えております。

地域医療機関の先生方へ

日頃より多くの患者様をご紹介いただき、ありがとうございます。 一方で、外来患者様の待ち時間や手術までの待機日数などでご迷惑をおかけしておりました。最近では毎週順次１～２例の待機患者を臨時枠で手術することや、入院サポートセンターなど外来検査体制の整備にて、手術待機日数は、相当減少していると存じます。今後とも円滑な運営を心掛けてまいりますので、ご紹介よろしくお願いいたします。

あわせて、癌患者様の地域連携パス利用や退院後のご処方、定期フォロー終了後の健康管理など引き続きよろしくお願いいたします。

急性腹症など緊急を要する患者様への対応は、日勤帯は外来担当医が、また夜間・休日は当番医が対応しております。症例がございましたら、お気軽にご連絡ください。

看護部トピックス

～退院後訪問指導をはじめました！～

皮膚・排泄ケア認定看護師　**仲上直子**

「やっとご自宅の訪問ができました！！」

地域包括ケアシステムが推進される中、平成 28 年度診療報酬改定に伴い、看護師が患者さんのご自宅等を訪問できるようになりました。

この制度を利用し、ストーマを保有したお 2 人の患者さんのご自宅を訪問しました。ストーマを保有した患者さんは、排泄経路が大きく変化し、その排泄動作を習得するまでに時間を要します。私がこれまで多くのストーマケアに関わってきた中で、患者さんは「病院では出来るけど、家で出来るかが心配」「実際に生活してみないと何で困るか分からない」という不安を話されます。私は日頃より「生活環境が確認できれば、もっと生活に密着したケア方法を伝えられるのに！」と思っていたので、早速この制度を利用しました。

「自宅訪問で発見！こんなことに困っておられるのだなあ」

訪問する主な目的として、排泄動作や装具交換の環境確認等がありました。患者さんはお 2 人とも訪問看護を導入されており､訪問看護師さんの訪問日に合わせてお伺いしました。以下はご自宅で私が確認した内容です。

○トイレの高さは患者さんに合っている？
○便廃棄の動作はスムーズにできておられるかな？
オッケイ！訪問看護師さんの援助を受けて、工夫されている！

そして、トイレ環境を確認し、あることに気づき、患者さんに確認しました。

トイレに消臭グッズがたくさんありますが、臭いが気になりますか？
(入院中は臭いは気にならないと話されていたけど･･･)

入院中は気にならなかったのに、自宅で過ごすと気になるね。

これは、住環境を確認した為に知り得ることができた情報です。そして、以下のような指導を行いました。

・排泄処理方法やケア方法を確認
・ストーマケア専用の消臭潤滑剤や消臭効果のあるストーマ袋の紹介
・排泄物の臭いを強くする食材（チーズ・甲殻類・ネギ類等)、
　排泄物の臭いを和らげる食材
　（パセリ・ヨーグルト・オリーブ油等）の紹介　など

この他、訪問看護師さんと共に、装具交換手順などのケア方法を共有することもできました。

「これからもどんどんお伺いします！」

今回、表情豊かな患者さんを目の当たりにし、自宅で過ごされることの大切さを実感しました。この制度では、認定看護師のみでなく、入院生活に密着していた病棟看護師も訪問することが可能です。患者さんが、入院前により近い状態で退院後も生活ができるよう、訪問件数を増やしていきたいと思っています。

PCT活動

（PCT：緩和ケアチーム）

■ がん・非がんを問わず、あらゆる苦痛に対して専門職チームで対応

緩和ケアチームは、診断早期から患者さん、ご家族のQOL向上を目標に活動しています。入院だけでなく外来の方も対象とし、最近は治療と並行した症状緩和や、終末期の療養に関する意思決定支援が増えています。また、神経難病、心不全などの非がん疾患の終末期ケアに関する相談も受けています。

患者さんの抱える症状は一つではなく、原疾患の治療や社会的な問題も絡んで問題解決は一筋縄にいかないことがあります。そのような場合でも、患者さんにとってのベストを常に考え、医療者間での話し合いを重ねるプロセスを大事にしています。

現在は、緩和ケアチームの専従医師、専従看護師を軸に毎日活動しています。また、週１回（水曜日）、緩和ケアチームメンバーで定期ラウンドを行い、カンファレンスを開催しています。カンファレンスでは、チーム介入ケースだけでなく、オピオイドが処方されている全ケース、苦痛のスクリーニングであがったケースについて検討を行っています。

■ 苦痛のスクリーニングによる早期からの緩和ケア

がん診療連携拠点病院における緩和ケアに関するスクリーニングの実施が要件化され、当院でも2015年７月から運用を開始しました。現在は救急部門を除いた全部署に導入し、継続して実施しています。スクリーニングの結果は週１回のラウンド時に共有し、問題の把握、専門的介入の必要性を検討しています。また、月１回の緩和ケアリンクナース部会でもスクリーニングの実施状況を共有し、有効な活用に向けて改善点を検討しています。

■ 緩和ケアに対する抵抗感を少しでも減らし緩和ケア病棟での療養へつなぐ

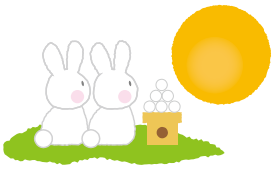
緩和ケアという言葉を聞くと、患者さん、ご家族だけでなく医療従事者ですら、「死に行くところ」といった悪いイメージをもつ方が多くおられます。緩和ケアチームは、緩和ケアに対する誤解をとき、治療を諦めたくない患者さん、ご家族の希望を支えるような関わりを行っています。早期からの介入で終末期まで継続したケアを提供でき、緩和ケア病棟や在宅療養へのスムーズな移行が可能となっています。

◆緩和ケア内科外来

症状緩和、終末期の看取り、介護者のレスパイトの目的で緩和ケア病棟への入院を希望される方を対象に、週３回午後から入棟面談を行っています。希望される方は、担当医師や看護師などにお伝えください。地域医療連携部と連携し、在宅療養の支援も行っています。

入棟面談外来：月曜日、水曜日、金曜日の午後（完全予約制）

症状緩和外来：院内紹介のみ



県立加古川医療センター外来診療表

平成 29 年 8 月 14 日（月）～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		山内	大北	中村	志智／伊藤	中村
呼吸器内科	1 診		尾野			中田	安田
消化器内科	1 診		垰本(さかもと)	尹(ゆん)	廣畑(午前)	尹(ゆん)	垰本(さかもと)
	2 診		廣畑	松浦	担当医	廣畑	戎谷(えびすたに)
	3 診					白川	松浦
循環器内科	1 診		福田(午前)	竹本(午前)	岩田	福田(午後)	岩田
	2 診				片嶋		片岡
神経内科	1 診		木村	的場	的場	渡部(午後)	木村
糖尿病・内分泌内科	1 診		飯田	日野	飯田	大原	日野
	2 診			山内		志智／伊藤	
緩和ケア内科	入棟面談		山口		山口		山口
生活習慣病			尹(ゆん) (肝炎)	戎谷(えびすたに) (糖尿・肥満)	志智 (糖尿・肥満)	大西 (糖尿・肥満)	
			福田(禁煙) 午後	装具外来 (隔週:毎月第2、4火午前)			
リウマチ科	1 診		田中	田中	田中	田中	担当医1
	2 診		塩澤	塩澤	塩澤	塩澤	担当医2
	3 診		村田	吉原	吉原	吉原	担当医3
	4 診		中川	上藤	村田	村田	中川
腎臓内科	1 診	午前	加藤				
		午後		中尾		加藤(1,3,5週) 北浦(2,4週)	
外科	1 診		高瀬	衣笠	小林		高瀬
	2 診		堀川	川嶋	門馬(もんま)		堀
心臓血管外科	1 診			西脇			西脇(午後)
脳神経外科	1 診		初診担当医	相原	森下	初診担当医	相原
	2 診			担当医	担当医		長嶋
乳腺外科	1 診		佐古田	石川		佐古田	担当医
	2 診		小林	交代制(午前)		石川	
	3 診					土屋	
整形外科	初診 1 診		原田	中川	高山	青木	中川
	初診 2 診		岸本		市村	西原	
	再診 1 診		青木	上藤(午前)	原田	高山	担当医(午前)
	骨粗鬆症	午後	岸本		市村		
形成外科	1 診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2 診		桒水流(くわずる)		桒水流(くわずる)	桒水流(くわずる)	桒水流(くわずる)
	3 診		三谷		三谷	三谷	三谷
皮膚科	初診／予診		大塚	大塚	高井	大塚	山野
	1 診	午前	白井	足立	足立	井上	足立
		午後	足立(アレルギー)				
	2 診	午前	山野	井上・白井隔週	井上	山野	白井
		午後	井上(アレルギー)				
泌尿器科	1 診		大場	担当医	田中	担当医	田中
	2 診			大場			担当医
眼科 秋田（休診中）	1 診	午前	薄木	薄木		薄木 コンタクト(隔週)	薄木
		午後					
	2 診		徳川	徳川	徳川		
リハビリテーション科	1 診		柳田	柳田	西原	上藤	柳田
	スポーツ整形	午後	柳田		柳田		
放射線科	IVR		担当医		担当医		担当医
	治療初診		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	がん治療相談外来	午前		小川		小川	

●各科診療予定表は、変更される場合がありますので、あらかじめご了承願います。

お願い **患者様の待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。**